

小規模多機能居宅介護施設 想

運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和 8年 3月 25日(水) 14時00分～14時30分	
参加者	議題
利用者 0名	1. 1月利用者状況報告・活動及び行事報告
利用者家族 1名	2. 2月利用者状況報告・活動及び行事報告
地域住民の代表者 0名	3. 運営指導について
市職員 1名	4. 拘束について
地域包括支援センター職員 1名	5. サービス評価について
薬剤師(みゆきファーマシー) 1名	
事業所 3名	
会 議 録	
<p>令和8年 1月分</p> <p>【利用者状況】</p> <p>介護度2女性 1/15 陶生病院退院(12/30～胆管炎にて)</p> <p>【活動状況】</p> <p>午前中は、利用者一人ひとりの状態に応じた個別レクリエーションを中心に実施しました。具体的には、キャップパズルや季節の塗り絵等を取り入れ、無理なく参加できる活動を提供しております。</p> <p>また、昼食前には口腔機能維持を目的とした口腔体操を実施しており、職員がそれぞれ工夫し、大きく見やすいカンペを用いるなど、利用者が理解しやすく参加しやすい環境づくりに努めております。</p> <p>午後は、壁面制作や個人作品づくりを中心に、体操やゲームも取り入れながら、楽しみや役割を感じていただける活動を行っております。</p> <p>一方で、要介護4～5の利用者の増加に伴い、通所利用中に午後は休憩される方も多くなっており、利用者間で活動参加に差が見られる状況となっております。そのため、今後は個々の体調や状態に応じた活動内容のさらなる工夫が必要と考えております。</p> <p>また、訪問サービス利用時においては、通所に参加が難しい方にも季節感や楽しみを感じていただけるよう、食形態に合わせたおせちを注文して食べていただいたり、初釜として</p>	

抹茶を点てるレクリエーションを実施するなど、個別性を重視した関わりを行っております。

令和8年 2月分

【利用者状況】

要介護2女性 2/4 あさひが丘ホスピタル入院し利用終了

【活動状況】

通所サービスにおいては、1月同様、午前中は利用者一人ひとりの状態に応じた個別レクリエーションを中心に実施しました。キャップパズルや塗り絵等を取り入れ、無理なく参加できる活動提供に努めております。

午後においても、壁画制作や個人作品づくり、体操やゲームなどを取り入れながら、利用者の楽しみや交流の機会を意識した活動を継続して実施しております。

また、訪問サービス利用時には、季節行事として節分レクリエーションを行い、豆まき等を通じて季節感を感じていただけるよう工夫しました。加えて、喫茶レクリエーションを実施し、通所利用が難しい方にもリラックスした時間を過ごしていただけるよう支援しております。

今後も、利用者の心身の状態に配慮しながら、個別性を重視した活動の提供に努めてまいります。

※身体拘束について

当事業所においては、対象期間中に身体拘束の実施はありませんでした。

また、身体拘束適正化委員会においては、「スピーチロック（言葉による行動制限）」について課題として取り上げ、職員間で認識の共有を行いました。日常的な声掛けの中にも無意識の制限が含まれている可能性があるため、具体的な事例をもとに振り返りを行い、利用者の尊厳を守るケアの在り方について検討しております。

今後も、身体拘束のないケアの継続とともに、言葉遣いや関わり方について職員の意識向上を図り、適切なケアの提供に努めてまいります。

サービス評価について（次年度課題について意見交換）

運営推進会議において、サービス評価および次年度の課題について出席者と意見交換を行いました。

現状のサービス提供状況を共有するとともに、利用者様の満足度向上や職員体制の充実、地域との連携強化などについてご意見をいただきました。

今後は、いただいたご意見を踏まえ、より質の高いサービス提供に向けた改善に取り組んでまいります。